

令和6年度 長崎県立猶興館高等学校 自己評価

学校教育方針	長崎県教育方針や本校の伝統をふまえたあらゆる教育活動において、県北の核となる地域に信頼される学校づくりに努め、徳・知・体の調和のとれた社会に有為な人間形成を目指す。
育成したい生徒像	(1)「猶興精神(自立・自発)」を持ち、夢の実現に向かって挑戦することができる生徒 (2) 高い社会力・学力・体力を持ち、志高く努力する生徒 (3) 母校や郷土を愛する心を持ち、持続可能な地域社会・国際社会づくりに貢献できる生徒
学校努力目標	(1) 信頼される学校づくり ア 多様な生徒の進路実現に向けての組織的な教育活動を推進する。 イ 学校の教育活動についての広報活動を積極的に推進する。 ウ サービス規律を遵守し、資質向上に努める職員集団の構築を推進する。 (2)「猶興精神(自立・自発)」の育成 ア 夢の実現に向けて挑戦することができる生徒を育成する。 イ 他人の心を思いやる豊かな心を持つ生徒を育成する。 ウ 郷土や母校を愛する心を持つ生徒を育成する。

評価基準 4:十分達成している 3:概ね達成している 2:不十分である 1:殆ど達成していない

1 学校経営

評価項目	目 標		具体的な方策	評価
学校教育目標	実態に即した目標を設定し、具現化を図り、内外に明確に示して支持を得る。	1	分掌・学年の目標に、学校の教育目標を入れて実践した。	3.2
		2	学校教育目標を常に意識して教育活動を実践した。	3.1
		3	学校教育目標を生徒・保護者・地域に広報し、説明した。	3.0

2 教育活動

教育課程	学習指導要領の趣旨を生かした特色ある教育課程を編成する。	4	普通科と理数科・文理探究科の教育目標達成のために、それぞれ特色ある教育課程を編成し、達成状況を定期的に点検した。	3.3
教科指導	わかる授業を展開するために指導方法の創意工夫に努める。	5	教材研究を十分に行い、教科の専門性や指導技術の向上に努めている。	3.3
		6	生徒の実態に応じた指導方法を考え、実践している。	3.4
		7	基礎・基本に重点化した指導を行い、その定着を図っている。	3.4
		8	適切な課題や予習・復習の指示を与えて、家庭学習の定着を図っている。	3.1
	教師の共通理解のもと、適切な評価を行う。	9	教師間によく話し合い、共通理解のもとで評価を行っている。	3.5
		10	生徒の多面的な能力を評価する方法を計画し、評価している。	3.2
学年指導	学年目標を具現化し、達成のための教育活動を行う。	11	学年全体が組織的に機能し、教師間の連携が図られている。	3.2
生徒指導	生徒理解に基づき、全教職員できめ細かな指導を行う。	12	校則等を生徒・保護者に説明し、共通理解の上、統一した指導を行った。	3.0
		13	頭髪・服装の指導を全職員で共通理解のもと取り組んだ。	3.0
		14	生徒が適切に挨拶ができるように、指導に積極的に取り組んだ。	3.2
		15	生徒の悩みや相談について親身になって対応している。	3.5
		16	教育相談調査を定期的実施し、悩みをかかえる生徒に対する教育相談を適切に行った。	3.4
		17	生徒支援委員会を定期的開催し、個別の対策を具体的に協議し、その後の指導に生かしている。	3.5
進路指導	学力の向上と進路実現のため自学力を養い、志高く努力する生徒を育成する。	18	教科・学年・進路指導部が連携して生徒の学力の現状を把握し、生徒に応じたきめ細かい対策を検討し、指導した。	3.3
		19	学年・進路指導部が連携して進路に関する行事に取り組み、進路意識の高揚を図った。	3.2
		20	進路に関する、情報を生徒や保護者に適切に提供した。	3.2

特別活動	HR活動・生徒会活動の活性化を図り、学校行事を充実させる。	21	学校行事では、生徒の自発性を喚起することを心がけ指導した。	3.5
		22	HR活動や生徒会活動が活発に行われるよう、工夫した。	3.3
	部活動と学習の両立を奨励し、好ましい人間関係を作れるように指導する。	23	ノ一部活デーの設定など学習と調和を図る指導を行った。	3.3
		24	部活動を通じて、好ましい人間関係作りや個性の伸長、学校生活の充実を図るよう指導した。	3.3
健康・安全教育	健康や安全に対する態度を育成する。	25	生徒の心身の健康について、自己管理意識を持たせるよう指導した。	3.4
		26	生徒の心身の健康について、担任、養護教諭、SC、SSW等の連携を密にして指導した。	3.5
		27	安全の確保について生徒や保護者への啓発を促すとともに、組織的に対応する危機管理意識を高めた。	3.0
人権教育	人権問題に対する意識を持たせ、解決能力を身に付けさせる。	28	人権問題や平和問題についての考えさせ、それらの問題の解決能力を育成した。	3.5
		29	いじめを許さない姿勢で教育活動を行った。	3.7
道徳教育	確かな倫理観と道徳的実践力を備えた品位ある生徒を育成する。	30	全ての教育活動で、道徳教育・こころの教育を意識した指導に心がけた。	3.2

3 組織経営

校務分掌	役割分担が明確で組織的な活動を実践する。	31	前年度の分掌の課題を確認し、解決のための方法や対策を考え努力した。	3.3
		32	分掌の活動について、組織的・計画的に業務を行い、資料等の保存・管理にも努めた。	3.4
研修	校内外の研修に積極的に参加し、指導力向上に努める。	33	教科会や分掌会を定期的に行い、情報共有を密に行った。	3.4
		34	研究授業・授業参観を積極的に行い、指導力の強化を図った。	3.0
		35	校外で得た知識・情報を他の職員に伝え、共有化に努めた。	3.2
		36	研修や研究発表等に積極的に参加し、自らの資質向上に努めた。	3.1

4 教育環境

環境の整備と管理	美化意識を持たせ、事故を防止する。	37	校内の美化が保てるよう掃除指導や整理整頓の指導に努めた。	3.2
		38	学校の施設・設備面での安全管理に心がけ、事故防止に努めた。	3.3
情報の設備と充実	ICT機器等の活用で学習や進路、情操教育の効果を上げる。	39	ICTについての研修・研究を積極的に行い、教育活動に活用できるようにした。	3.2
		40	視聴覚教材の適切な活用に努め、授業での学習効果を高めた。	3.2

5 開かれた学校

保護者・地域社会との連携	学校から情報を提供して保護者や地域社会との連携を強め、外部からの情報収集にも努める。	41	学校だより等で、学校の状況を保護者や地域に丁寧に広報した。	3.4
		42	ホームページやメール配信を通じて、情報提供を適切に行った。	3.3
		43	生徒の状況について保護者と密に連絡を取った。	3.3
		44	PTA行事に積極的に参加してPTA活動の活性化に努めた。	3.0
		45	地域行事への参加、ボランティア活動や部活動等で地域との交流を深めた。	3.2